

令和3年度事業経営状況

水道事業

給水人口の減少や経済活動の停滞などの影響で、料金収入が前年度と比べ4,429万円減少したことなどにより、収益は前年度と比べ5,346万円減少し、19億1,615万円となりました。

一方、費用も、人件費や修繕費が減少したことなどにより、前年度と比べ4,837万円減少し、16億6,058万円となりました。

この結果、当年度純利益は、前年度と比べ508万円減益の2億5,557万円となりました。

この利益は、翌年度以降の建設改良費に充てるため、建設改良積立金に積み立てています。

また、老朽化した水道管の更新、基幹管路を耐震化するなどの建設改良費や企業債(借入金)の償還に10億9,796万円を支出し、この財源として、国か



断水せずに配水本管から分岐を設置する工事



高区配水池の改修工事前



高区配水池の改修工事後

下水道事業

下水道利用者の人口(水洗化人口)減少や経済活動の停滞などの影響で、下水道使用料が前年度と比べ1,800万円減少したことなどにより、収益は前年度と比べ4,108万円減少し、34億1,203万円となりました。

一方、費用も、減価償却費の減少などにより、前年度と比べ3,002万円減少し、32億6,127万円となりました。

この結果、当年度純利益は、

前年度と比べ1,107万円減益の、1億5,076万円となりました。

この利益は、翌年度以降の企業債(借入金)償還に充てるため、減価積立金に積み立てています。

また、下水道管路の更生工事や浄化センターの改築工事、大手ポンプ場建設などの建設改良費、企業債償還に37億8,995万円を支出。この財源として、国からの補助金や企業債などの収入25億6,523万円と内部留保資金12億2,472万円を

今後、経営戦略に基づき、施設の改築更新を着実に進めるなど、将来にわたり事業の安定経営に努めます。



老朽化した下水道管の修復工事



中継ポンプ場の点検作業



汚泥を処理する装置を更新(東浄化センター)

令和3年度下水道事業建設改良費 16億3,803万円

【主な事業】

- ◆処理場整備費 8億1,459万円
東浄化センターの汚泥処理設備の更新工事など
- ◆管渠建設費・管渠整備費 2億1,255万円
公共下水道管の布設(真倉地区など)
- ◆雨水処理費 5億9,566万円
大手ポンプ場の機械設備・電気設備工事など

損益計算書	
汚れた水を処理するための収益と費用(税抜き)	
収益	34億1,203万円
費用	32億6,127万円
純利益	1億5,076万円

資本的収支	
下水道施設の更新や借入金返済のための収入と支出(税込み)	
収入(補助金など)	25億6,523万円
内部留保資金	12億2,472万円
支出(資産更新など)	37億8,995万円

令和3年度水道事業建設改良費 6億2,891万円

【主な事業】

- ◆浄水施設費 2,149万円
浄水場の老朽設備の更新など
- ◆配水施設費 6億541万円
耐震性の優れた水道管への更新など

損益計算書	
水道水を作り届けるための収益と費用(税抜き)	
収益	19億1,615万円
費用	16億6,058万円
純利益	2億5,557万円

資本的収支	
水道施設の更新や借入金返済のための収入と支出(税込み)	
収入(補助金など)	4億4,294万円
内部留保資金	6億5,502万円
支出(資産更新など)	10億9,796万円

この結果、当年度純利益は、前年度と比べ508万円減益の2億5,557万円となりました。

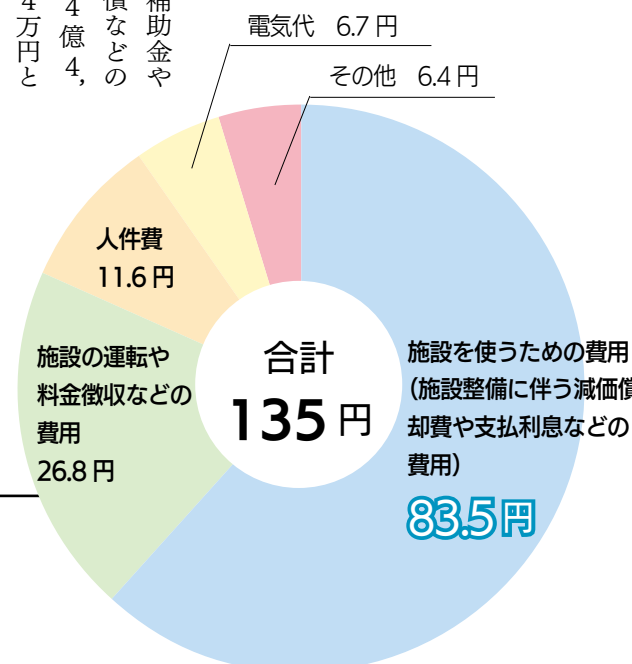
この利益は、翌年度以降の建設改良費に充てるため、建設改良積立金に積み立てています。

また、老朽化した水道管の更新、基幹管路を耐震化するなどの建設改良費や企業債(借入金)の償還に10億9,796万円を支出し、この財源として、国からの補助金や企業債などの収入4億4,294万円と内部留保資金6億5,502万円を充当しています。

今後、経営戦略(中期経営計画)に基づき水道施設の適切な更新を行うほか、民間事業者や近隣市町との広域的な連携を進めるなど、持続可能な安定した経営に努めます。

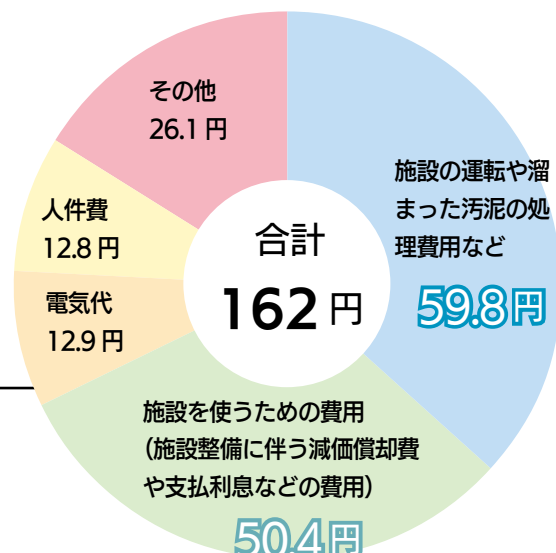
水道

水道水 1,000ℓを作るのにかかった費用(給水原価)



下水道

汚水 1,000ℓを処理するのにかった費用(汚水処理原価)



上下水道に関する問い合わせ先

【受付時間】平日8時30分～17時15分

問い合わせの内容	電話番号	担当
●水道料金、下水道使用料 ●水道の使用開始・中止・検針など	☎ 62・1632	お客様サービスセンター
●にごり水、漏水、水道メーター交換 ●水洗便所等改造資金貸付 ●水道給水、下水道排水設備の相談など	☎ 66・1028	経営企画課



上下水道事業審議会

8月31日に令和4年度第1回舞鶴市上下水道事業審議会を開催。事務局から上下水道事業の経営状況と経営戦略を説明し、委員の皆さんからは外部委託の状況や管路の更新計画、耐震化についての質問を受けるなど、活発な審議を行いました。

今後、事業展開や経営戦略の見直し、上下水道料金のあり方などについて議論を進めていきます。



漏水調査を実施中

水道管の破損などによる漏水の早期発見・早期修理に取り組んでいます。漏水の多くは、地下の見えない箇所が発生します。無線式の管路漏水監視装置や漏水探知器、音聴棒などを用いて年間を通して調査を行い、貴重な水を無駄にしないように努めています。